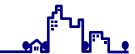
# ■ U R都市機構の千里山団地建替計画



- 団地居住者の居住の安定に配慮しながら、居住水準の向上と敷地の有効高度利用を図ります。
- 吹田市と連携を図り、地域のまちづくり課題を解消するための駅周辺整備計画と一体的に事業を進めます。

# 周辺との一体的なまちづくり

団地建替事業と駅周辺整備事業を効率よく一体的に推進し、団地を含めた地域全体を、より一層魅力あるものにしていきます。

- ●駅周辺整備に協力しています
- ●まちづくり課題の解消に努めます

# 団地環境資産の継承

千里山の丘陵地形や豊かな緑環境 を、大切に継承していきます。

- ●地形を活かした景観をつくります
- ●樹木の保存や更新に努めます
- ●伐採木や資材のリサイクルに努めます。

# 環境に配慮したまちづくり

まちや住まいのライフサイクル(建設・居住・改修・解体)を通した省エネを目指しています。

- ●建設副産物のリサイクルに努めています。
- ●断熱性の向上による省エネに努めます



# 千里山建替事業の概要

		建替前	建替後(先工区)
戸	数	724戸	約350戸 <sup>※</sup>
階	数	4階	5~8階
型	式	2K∼2DK	1DK∼4LDK
専用面積		約35㎡	約43~約90㎡

※UR賃貸住宅ゾーンは設計中であり、変更する場合があります

※ 先工区のみの建設戸数。後工区の土地利用は未定。

< 発 行 > 平成 22 年 (2010 年) 3 月 吹田市 都市整備部 都市整備室

電話:06-6384-1969 FAX:06-6368-9901



建物イメージ

独立行政法人都市再生機構 西日本支社 団地再生業務部 団地再生計画第1チーム

電話:06-6969-9747 FAX:06-6969-9953

この冊子は6,000部作成し、一部当たりの単価は52円です。

# まちづつの



# 千里山地区の概要



千里山駅

千里山地区は、大正末期に住宅地が開発され緑豊かで閑静な住宅街 として市街地が形成されてきました。しかし、近年では、踏切を中心とした 千里山駅周辺の交通環境の改善が、地域の大きな課題となっています。 課題解消のため、千里山駅周辺整備事業は老朽化した都市再生機構 (UR)千里山団地の建替えと総合的・一体的な整備を行うものです。

# 千里山駅周辺整備事業のこれまでの歩み



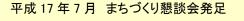
右の4つの課題の解消のため、平成17年7月にま ちづくり懇談会を発足し、市民・UR・吹田市等とでまち づくりについて話し合い、計画を積み上げて、現在に 至っています。

踏切の安全性

駅前都市機能の不足(駐輪場等)

都市計画道路(千里山佐井寺線) の未整備

千里山団地の老朽化



平成 18 年 6 月 道路計画提案書提出

平成 19 年 1 月 まちづくり提案書提出

平成 19 年 3 月議会 市道路線(跨線橋線)認定可決

平成20年3月 都市計画決定(千里山佐井寺線・駅前交通広場)

## 平成 20 年 9 月 千里山団地建替事業着手

平成 21 年 2 月 『千里山団地区域再生への提案 一市民の想いー』提案書提出

千里山駅周辺整備事業(事業中)

まちづくり懇談会



吹田市

都市再生機構(UR)

提案書を市長へ提出

▶千里山駅周辺の整備計画



千里山佐井寺線(星が丘工区)

環境負荷軽減を目指した自転車駐車場

太陽光発電や緑化等による環境負荷 軽減を目指します。

<収容台数>

自転車及びバイク 約 1,300 台

# 歩行者の安全を確保した都市計画道路イメージ

※イメージであり、実際とは異なる場合があります。

# ■都市計画道路 千里山佐井寺線

両側 4.5m の自転車歩行者道を整備します。歩道部分については、透水性舗装をおこない環境負荷軽減につとめます。

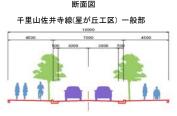






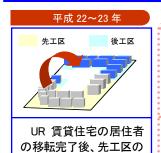
千里山佐井寺図書館前より西側方向



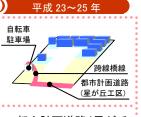


100m

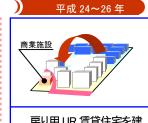
# ◆今後の事業スケジュール



建物を解体します。



都市計画道路(星が丘 エ区)と跨線橋線、自転車 駐車場を整備します。



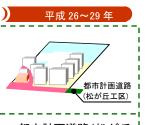
戻り用 UR 賃貸住宅を建 設し、戻り入居完了後、後 工区の建物を解体します。

UR 建替事業

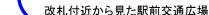


駅前交通広場を建設し

吹田市事業(UR 直接施行\*)



都市計画道路(松が丘 工区)を整備します。



# 駅前交通広場と跨線橋線イメージ

# ■駅前交通広場

駅前交通広場には、人の広場及びバス・タクシー等の 待機場所を整備。将来は路線バスの乗り入れ予定。



跨線橋線により車の東西連絡機能を確保。これにより、 踏切内は歩行者・自転車専用となります。



駅ホームから見た跨線橋線